

# 子どもの森づくり通信

発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P 子どもの森づくり運動 参加園月例会報 (2020年4月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081 http://www.kodomono-mori.net mailto:info@kodomono-mori.net

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、 活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

#### <今月の1枚>



年度が改まりましたが、新型コロナ感染症拡散の勢いが止まりません。 参加園の皆様におかれましては、感染防止対策の厳しい日々が続き、お疲れのことと思います。 保育者は、社会を支えるかけがいのないエッセンシャルワーカーです。 事務局では、そんな皆様に最大の敬意を表しつつ、

> これからも、参加園を少しでもサポートする提案を提供させていただきます。 今年度もよろしくお願い申し上げます。

## (目次)

- 1. JP子どもの森づくり運動からの提案【1】
- 2. 「こども環境学会賞・活動賞」を受賞しました。
- 3. 「東北復興グリーンウェイブ2020」からのお知らせ
- 4. 「園庭緑化運動 リレーエッセイが始まりました。

#### ■「JP子どもの森づくり運動 lとは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。 しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来 の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グ ループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育園連盟 NPO法人 富良野自然塾

(公社) 大谷保育協会 (公社) こども環境学会

保育環境研究所ギビングツリー 国際校庭園庭連合日本支部

(公社) 国土緑化推進機構 (一社) 日本森林インストラクター協会



### 1. JP子どもの森づくり運動からの提案【1】

先月号の「子森通信」をお送りして以降、「新型コロナ感染症」はますます猛威をふるい、全国的に「緊急事態宣言」が発令されてしまいました。参加園の皆様には、さらに厳しい感染症対応の中での保育・幼児教育の日々をお過ごしのことと思います。さすがに現状では、園外の活動は控えなければいけない状況ですが、JP子どもの森づくり運動としては、一日も早い感染症の収束を願うと共に、感染状況の改善に合わせて参加園の屋外活動や身近な自然フィールドでの体験活動、さらにそのための環境づくりについて、サポートしてまいりたいと思います。なお、感染症対応については、ホームページもご参照下さい。

J P 子どもの森づくり運動では、先月号の「子森通信」にて、『**感染症対策の厳しい期間を、ただ、** 耐えるだけではなく、"こんな時だからこそ"をキーワードに、保育のスキルアップや改善の準備期間と して前向きに活用していただくこと』を実現するために、主に、三つの活動を提案させていただきました。



## くJP子どもの森づくり運動からの三つの提案>

# 身近な自然を活用した 自然・環境体験活動の スキルアップを目指す活動

- ⇒ 自然体験プログラム集の活用
- ⇒ 自然・環境体験講座全国 キャラバンの活用

子どもたちのもっとも身近な 屋外フィールドである園庭を、 単なる運動の場ではなく 多様な体験フィールドとして 緑化・改善する活動

⇒「園庭緑化運動」

# 本当に、子どもの命を守るため の防災体制を構築する活動

- ⇒「保育防災マイスター(仮称) 」認定講座の仕組みづくり
  - ⇒ 保育施設の防災を考える 全国集会(仮称)の開催

提案の詳細については、今月号より順にご案内させていただきます。今月号のテーマは、自然・環境体験活動のスキルアップです。

## 【今月の提案】

#### "こんな時だからこそ"、身近な自然を活用した「屋外あそび」や自然・環境体験活動のスキルアップを目指す活動

今月号では、まず、屋外活動や自然体験活動についてのサポート活動です。「緊急事態宣言」が発令され、多くの保育園、幼稚園、こども園が休園、あるいは縮小対応されておられる現状では、屋外活動もなかなか困難な状況です。ただ、言うまでもなく、幼児(少)期の「屋外遊び」や自然・環境体験活動は、子ども本来の「生きる力」を育むものとして重要な保育・幼児教育活動です。今月の提案の内容は、やがて宣言が解除され、保育の日常が戻って来た時に向けて、この機会に自然・環境体験活動のスキルアップを目指される保育者へのサポート活動です。

### 1) JP子どもの森づくり運動10周年記念誌「自然・環境体験プログラム集」をご活用下さい。

同プログラム集には、園庭や近所の公園など、身近な屋外空間での自然遊びプログラムが掲載されています。是非、ご活用下さい。 なお、参加園からの追加要請もあり、同プロラム集のダイジェスト版を作成して、本通信に同封してお届けします。

## 2)「自然・環境体験講座全国キャラバン」をご活用下さい。

この機会に、外遊びや自然・環境体験活動のスキルアップを目指そうという保育者の方を対象に、 2020年度も「自然・環境体験講座全国キャラバン」を積極的に全国展開しますのでご活用下さい。 感染症の事情で、開催時期は秋頃になる予定です。参加募集については、あらためてご案内申し 上げます。



## 3) 【情報提供】「こども環境学会」新型コロナウイルスに関する呼びかけ

J P 子どもの森づくり運動の協力団体である「こども環境学会」より、「新型コロナウイルス感染拡大防止と子どもの心身の健康のバランス(その1、2)」という提言がホームページに掲載されました。現在、保育者には、休園や縮小保育で自宅で過ごす子どもたちのサポート情報も求められています。同サイトには、家庭における子どもたちの心と体のためのすぐれた情報が紹介されております。是非、ご参照下さい。詳細「こども環境学会」HP ⇒ http://www.children-env.org/

#### 2. 「こども環境学会賞・活動賞」を受賞しました。

子どもの環境活動について、すぐれた研究と活動を推進しておられる「公益社団法人 こども環境学会」が公募する「こども環境学会賞2019」において、JP子どもの森づく り運動「東北復興グリーンウェイブ」(特別協賛:日本郵政グループ)が、「こども環境 学会賞・活動賞」を受賞しました。

同賞は、「こども環境に関する優れた研究、デザイン、活動、施策などを顕彰し、それを広く公表することによって、こども環境の改善に資することを目的に、2005年に創設されました。」(「こども環境学会」HPより)「東北復興グリーンウェイブ」の活動は、これまでも多くの環境活動アワードにおいて顕彰されてまいりましたが、「こども環境学会」さんのようなアカデミックな団体からの評価は、活動の信頼性が担保されたものとしてありがたいことと考えます。

これまでの受賞も含めて、今回の受賞も、活動参加園、ご支援、ご協力いただいている 関係の方々と共にいただいた評価です。ご共有いただけると幸いです。事務局では、受 賞を契機に、さらに活動を積極的に推進してまいりたいと思います。今後ともよろしくお 願い申し上げます。





## 3. 「東北復興グリーンウェイブ2020」からのお知らせ

#### 1) 東北の"どんぐり"の苗木を被災地に見送る活動について

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の「東北復興グリーンウェイブ」の被災地での植樹会も、来年度に延期となりました。このような状況ですので、今年度の「東北の"どんぐり"の苗木を被災地に送る活動」も、来年度に延期していただいても結構ですし、せっかく育ったのだからと今年、お送りいただいても結構です。今年度、お送りいただいた苗木は、来年度植樹予定の、宮古市の「あかまえこども園」さんにお預かりいただきます。今年度も「どんぐりの絆BOX」をお送りしますので、活動実施のご判断は各園にお任せします。



## 2) "こんな時だからこそ"、「♪どんぐりえがおでつながろう」プロジェクト 参加園募集のご案内

感染症拡散の事情で、「東北復興グリーンウェイブ」の実活動は来年度まで延期となりましたが、その間を活用して、活動のスピリッツや「どんぐりの絆」を実感するキャンペーン企画として、「東北復興グリーンウェイブ」のテーマソング「♪どんぐりえがお」の『we are the world』版の動画を作成します。全国から参加園を募り、撮影と音響のプロのスタッフがおうかがいして録音、収録し、DVD化して全参加園に配布します。参加園募集活動は先行しますが、収録は10月以降の予定です。募集の詳細は、別紙申込み用紙をご参照下さい。

# 3)【「♪どんぐりえがおダンス」ホームページアップ!】子どもたちの運動不足解消と気分転換にご活用下さい。

「東北復興グリーンウェイブ」のアンバサダー**"どんぐり~ず"**のお二人による「♪どんぐりえがおダンス」の踊り方ガイドページを、ホームページにアップしました。子どもたちの運動不足解消や気分転換にご活用下さい。その際は、子どもたちの間隔にご留意下さい。

#### 4. 「園庭緑化運動」リレーエッセイが始まりました。

今月号より、「園庭緑化運動」の普及を目的に、これまで園庭緑化(改善)について、すぐれた研究や活動に携わっておられる方々によるリレーエッセイを掲載します。エッセイにご寄稿いただけるのは以下の方々で、それぞれ三カ月づつご担当いただきます。

- 1) 2020年4月~6月: 国際校庭園庭連合日本支部代表 鶴見大学短期大学部保育科 准教授 仙田 考氏
- 2) 7月~9月: 小泉造園 代表 京都女子大非常勤講師 小泉昭男氏
- 3)10月~12月:日本生態系協会教育研究センター センター長 田辺龍太氏
- 4) 2021年1月~3月: 東京大学発達保育実践政策学センター 園庭調査研究グループ 園庭研究所 代表 石田佳織氏第一回目は、鶴見大学短期大学部の仙田先生にお願いしました。

## ●「園庭緑化運動」リレーエッセイ―2020年4月号ー

### 『園庭緑化の意義と可能性について~あそび緑化を目指そう!』

国際校庭園庭連合日本支部 代表、鶴見大学短期大学部保育科 准教授 仙田 考



みなさま、こんにちは。仙田考と申します。1年ほど前に、子森ネットの清水英二代表理事にお会いしてお話しさせて頂いたことがご縁で、「園庭緑化運動」プロジェクトのアドバイザーとして、関わらせて頂くことになりました。このたび子森通信「園庭緑化(改善)運動」リレーエッセイの最初を担当いたします。3ヶ月の間、よろしくお願いいたします。

簡単にプロフィールをお話いたしますと、学生時代から国内外の校庭園庭環境づくりを研究、その後造園家として園庭づくりに関わってきました。現在は横浜の保育者養成校で、領域環境や保育環境の授業を通して、園庭等における保育者の環境づくり、環境構成の在り方について学生たちと向き合っています。また、海外の仲間たちと「国際校庭園庭連合」を立上げ、昨年日本支部を設立、校庭園庭まちの環境や活動の可能性を探っています。

子森通信は、2019年6月号で「園庭緑化運動」についての寄稿をさせて頂いた以来になります。その文章の最後に、『子どもたちは豊かな体験を通して育っていきます。安全面や植物、生き物への生育・生息環境への配慮を十分行いつつ、園の中で、子どもたちにできるだけ多くの自然との出会いの機会を心掛けてほしいと願っています。』と記しました。子どもたちは豊かな体験を通して、豊かな学びや育ちがある。たくさんの自然との出会いの機会を、と願いを込めた締めの言葉だったのですが、その約1年のち、日本そして海外において、このような状況が起こることは予想もしておりませんでした。

多くの学校や園において臨時休業が続くなか、安全面への配慮を持ってしても、屋外で自由にあそぶことはいま難しい状況にあります。私自身も在宅仕事となり、買出しの短い外出時に初めて、いまハナミズキが満開なのだと気がつきました。初春の若草色の小さな芽吹き、色とりどりの花々といった春の樹木のすがたは、家にいると忘れてしまいがちですが、実はすぐそばにあるのかもしれません。部屋の窓からでも家の庭でも、機会がありましたら、葉や花々からひとときの春を感じてみてください。それでは、みなさまどうぞお体に気をつけて。来月またお会いしましょう。

「ハナミズキ」(写真提供:仙田先生)

**※information**: 国際校庭園庭連合日本支部(ISGA-Japan)

校庭・園庭の国際ネットワーク「国際校庭園庭連合(International School Grounds Alliance, ISGA」の日本支部です。 子どもたちの屋外での多様で豊かな学び、遊び、生活を目指して、国際的な視点を踏まえ、日本の校庭・園庭・まちの環境や活動のあり方について考えます。 https://www.isga-japan.com/